

「東海道新幹線の大規模改修計画変更に関する申し入れ」提出！

新工法で工事費縮減！安全性は？

大規模改修はリニア開業前に終了！リニアの必要性がまたひとつ消える！

会社は1月29日、東海道新幹線の大規模改修計画を当初より5年前倒しして実施すると発表しました。これによると「大規模改修の工法は土木構造物の経年による変状の発生自体を抑止することで構造物を延命化する対策を実施し、その後、部材取替等の全般的改修を実施する工法を開発した」としています。この新工法によって「列車運行支障の大幅低減や、工事費の縮減も実現できる」としています。また、2002年から毎年333億円を積み立ててきた大規模改修引当金は3月で積み立てをやめ、2013年度から工事費として取り崩すための計画変更も行われます。

このように大きな変更にもかかわらず、会社は労働組合に対して一切説明していません。大規模改修計画の変更は経営の根幹に関わることであり、安全性についても解明すべき点があるため、経営協議会の開催を求める申し入れを行いました。

主な申し入れ内容

- ◆大規模改修計画の変更は、経営の根幹に関わることであり、会社の見解を明らかにすること。
- ◆工事開始を5年前倒しして2013年度から行うとした理由、及び変更に至る経過を明らかにすること。
- ◆工法の簡略化等で安全が確保されるのか明らかにすること。
- ◆小牧研究施設で確立したという「新工法」で安全性が確保される根拠を明らかにすること。
- ◆中央新幹線の必要性を「東海道新幹線の将来の経年劣化への抜本的な備え」として説明してきたが、今回の計画変更では中央新幹線開業前に大規模改修が終了することになる。これについて会社の見解を明らかにすること。
- ◆「土木構造物の延命化」では、いずれ取り替え時期が来ることが想定されるが、その時期と工事費等について、会社の考え方を明らかにすること。
- ◆「大規模改修引当金の積立計画の変更」が経営に与える影響を明らかにすること。
- ◆安全や経営に関わることは、速やかに労働組合と経営協議会を開催し協議すること。

大規模改修計画変更は経営の根幹に関わることだ！
会社は経営協議会を開催せよ！